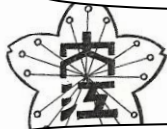


今日は4年生が地区音楽会に大江小学校代表で出場しました。白川小に、碩台小の3・4年生、黒髪小の4年生、白川小の3年生が集まり合唱や合唱を披露しました。他の学校の歌声や演奏を聴く機会はあまりないので、とても勉強になりましたね。大江小の4年生もとても上手でした。ばっちりでしたよ。



大江の風



11月12日
No. 64

月曜日タブレット忘れ物ゼロ、宿題忘れゼロ。すばらしいね。作品もとてもよくできていました。

タブレットで初宿題 5年生の英語の授業

を参観しました。めあては「行きたい国紹介のプレゼンを仕上げよう」でした。

- ① I want to go to (行きたい国名)
- ② I want to see (その国の観光地など)
- ③ I want to eat (その国の食べ物)
- ④ I want to buy (その国の欲しいもの)

子どもたちは一人一人、どの国に行きたいかを決めて、その国の観光地や特産品を調べていました。そして写真を取り込み、その下に①～④の英文を書いています。単語をメモに書いたり、コピーしたりして文章を完成させます。みんな一生懸命取り組んでいました。あまりにも熱心に検索するものだから、時間が足りなくなってきました。子どもたちは主体的に学んでいます。自ら学んでいるのです。ここで中断させたらもったいない！！そこで私から提案しました。「タブレットを家に持って帰って続きは宿題ってどう？」子どもたちはびっくりしていました。そしてすぐ「やりた～～い！」と声をあげました。担任の先生に相談して「日曜日の夜10時

までにデーターを提出箱に提出すること。」「使い方はしっかり考えて」を約束しました。私は「あなたたちだったら持ち帰っても大丈夫。悪いことはしないでしょ。みんなを信用します。でも閲覧履歴はばっちりこちらでわかりますから(笑)・・・」と言いました。タブレットを持ち帰ることで、自分の英語の宿題をお家の人に見せることもできますし、じっくり納得いくまでプレゼン作成をすることができます。また英語だけではなく、水俣に学んだことのプレゼンもお家の人に見せることができます。ちゃんとルールを守ってできる学年には、これから家庭学習にも学校のタブレットを貸し出そうと思います。新しい家庭学習のかたちにチャレンジしていきます。



松野先生は「UK.Tower Bridgeを見たい・・・」と例をあげられましたが、子どもたちは「先生行ったことあるでしょう？」と見抜いていました。その通り！(笑)



韓国が人気でした。チーズタッカルビを英語で書いていました。



松野先生と一緒に検索。この国はどこ？

総合的な学習にも本校の特色が表れています

総合のねらいは、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすることです。3年生は、「大えのきのひみつ」について調べ学習をしています。4年前の台風で倒れてしまった本校のシンボルツリー大えのき。もうその存在すら知らない子どももいます。たくさんの人々の思い、願いがこもった「大えのき100年プロジェクト」が進行しています。

「障害は不便だけど不幸ではない」と村上さんの素敵な生き方に学びました



先輩たちから受け継いだ「命のリレー」を絶やすことはできません。3年生は、樹木のお医者さんである今村先生のお話を聞きました。「樹木たちは子どもたちの声が好き。いつも声をかけてね。そうしたら元気になるよ。樹木も熱中症になるから、夏場は朝夕頭から水と声をかけてね。」と教えていただきました。4年生は村上博さんにお越しいたいで講話と車いす体験を全員しました。とても価値ある時間でした。



もっとえのきについてお話がききたかったですね。